

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	広島大学	整理番号	1-4-025
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	高等教育のユニバーサルデザイン化 －総合大学における障害学生就学支援－		
申請単位	大学全体		
申請担当者	高橋 超		
<p>(取組の概要)</p> <p>「高等教育のユニバーサルデザイン化」とは、すべての学生に質の高い同一の教育を保障し、自立と共存が目指せる環境を整備することである。その際、障害の有無にかかわらず、成績評価の基準は変えないこと及び、情報の伝達方法を障害に合わせて工夫することが重要である。この目的の実現のために、広島大学では、施設設備のバリアを取り除くことに加えて、以下のような取組を平成 9 年度より全学体制として行ってきた。1. 入学前から卒業までの一貫した支援、2. 学生教職員一体型の授業支援、3. 日常的支援のための拠点の設置：ボランティア活動室、4. 支援者育成のための授業開設：概論と実習、5. 全学体制：障害学生支援部会と大学規則の制定である。本取組は、随時多様な学生に対応でき、情報伝達支援の質、精度が高く、多数の支援者が恒常的に確保でき、より分かり易い授業の開発を行うことを可能にしているという点で特色があり、社会全体のユニバーサルデザイン化に大きく貢献できる人材の育成にも資するものである。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、広島大学が「総合大学における障害学生就学支援を「高等教育のユニバーサルデザイン化」と位置づけ、大学のポリシーとして、既に 7 年以上にわたり、取組んで成果を上げてきております。</p> <p>平成 13 年度には「障害学生の就学等の支援に関する規程」を定め、部局長会議の下に「障害学生就学問題検討部会」と「就学支援検討グループ」を設置しており、支援活動の拠点として「ボランティア活動室」を設置しています。また、教職員に対しては、「障害学生就学支援の手引き」を作成配布し、学生には「障害学生ボランティア概論」と「障害学生支援ボランティア実習」を開講しています。</p> <p>このような教職員だけでなく学生も積極的に参加する全学的、組織的な障害学生支援への取組がモデルとなり、中核となって、地域における大学、短期大学との連携協力による「障害学生支援ネットワーク体制づくり」が推進されるよう、更なる発展を期待します。</p>			